

若村檢校弟子 若波勾當印

若村次郎右衛門印

役座頭 杉 一 印

辨才天社 仲 一 印

大久保清次印

寺社御奉行所

前書之通被仰付、先達而相願候、俗盲人共之義も被仰付無之相濟候旨、同年八月十一日、牧野越中守殿江、社役大久保清次被召出、書面之通被仰渡候事、

〔當道要集〕聖家檢校之事

何の檢校御房御同宿中返札管報尊報、是ハ人により、ケ様の御衆へハ其所を上に書候而、檢校と書つけ申候、聖家とハ比叡山高雄山の檢校なるべし、後宇多院御宇弘安年中に定る、たとへば在名松尾なれば、松尾檢校御坊と書なり、但俗姓も能仁ならば、松尾檢校御坊御近習中、

右のごとく回報尊報と書べし、總檢校之事也、又二老三老へは進之候也、四老々末の平檢校へは、松尾檢校坊進之候也、但俗姓も能仁ならば、檢校御坊近習中と書べし、勾當へは、松尾勾當坊參る、但俗姓も能仁ならば、勾當御坊と書べし、此一ケ條ハ、公方の御日記の内を寫し畢、

〔當道大記録〕御家人檢校の事

慶長年中御同様被召出 子孫御小性組 土屋兵庫殿 針治ニ而被召出 一杉山總檢校 高八百石 子孫御小納戸 杉山藤之助殿

一伊豆總檢校 高七百石 子孫斷絶 一島浦總檢校 高三百石 子孫御醫師 和田春長殿

一三島總檢校 高五百石 子孫斷絶 一高橋三次郎殿 一伊豆田檢校 子孫相知れず

一岩船檢校 高二百石 子孫斷絶 一鷺坂檢校 鷺坂藤十郎殿

一板花檢校 子孫斷絶 一鷺坂檢校